

# 令和5年度 第2回 関東信越厚生局地域包括ケア応援セミナー

## アンケート集計結果

日時:令和6年3月22日(金) 13時30分～15時45分  
開催方法:オンライン(Zoom)  
申込件数:131件  
視聴人数(見込):291名  
アンケート回収数:55件(回収率42%)

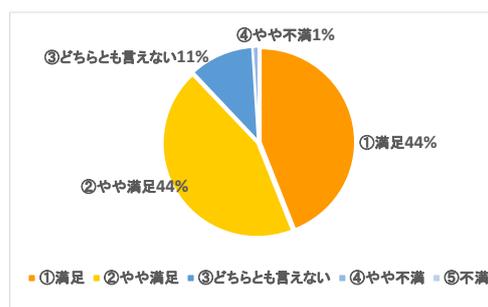
- 今回は山梨県と共同で移動支援をテーマにオンラインでセミナーを開催しました。山梨県だけではなく、管内の10都県からたくさんの方々にご参加いただき、中には生活支援体制整備事業の協議体のメンバーで集まって視聴されたとも聞いております。今後もオンラインでのセミナーを開催していきたいと思っておりますので、取り上げて欲しいテーマ等ありましたら、厚生局までお寄せください。

### 1. 所属

一般住民	ボランティア団体	NPO法人	民間企業	行政職員	社会福祉協議会職員	その他
3	3	0	1	21	13	14

### 2. セミナーの内容について、満足度を教えてください。行政説明(関東信越厚生局)

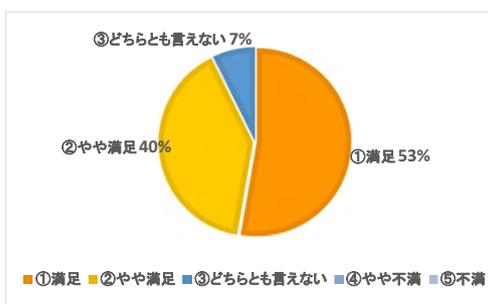
	実数	%
①満足	24	44%
②やや満足	24	44%
③どちらとも言えない	6	11%
④やや不満	1	1%
⑤不満	0	0%
合計	55	



- サービスを必要とする高齢者が増加する一方で、担い手不足、サービス量の不足等、問題が多くある中で高齢者や多様な主体を含めた地域の力を組み合わせることが必要であり、そうすれば専門職がより専門性の高いサービスを提供することが可能になると改めて学びを深められました。
- 山間部地域では特に移動支援の課題が多いと感じています。
- 介護予防・日常生活支援総合事業におけるサービス事業の類型が再確認でき、また移動手手段の確保に関する調査で、各地の取組を把握することができた。

### 3. セミナーの内容について、満足度を教えてください。行政説明(関東運輸局)

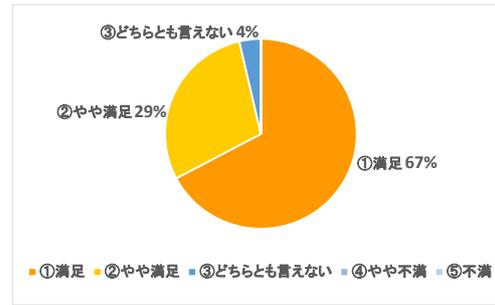
	実数	%
①満足	29	53%
②やや満足	22	40%
③どちらとも言えない	4	7%
④やや不満	0	0%
⑤不満	0	0%
合計	55	



- 運輸局としても、交通について課題とらえていることがよく分かりました。
- 今まで、安易にバスやタクシー会社との連携があると良いのではないかと考えていました。公共交通事業者の現状をお聞きし、コロナの影響により経営環境の悪化、人手不足が深刻化していることを知ることが出来ました。様々な形での共創により各自治体で取組もなされているので、自分たちの地域に適した形で移動支援等の取組が進んでいけば良いなと思いました。
- 地域住民が企画・運営している各地の事例で、どのようなプロセスを経て活動を進めていったのかが具体的に分かり、とても良かった。

#### 4. セミナーの内容について、満足度を教えてください。講演(NPO法人全国移動サービスネットワーク)

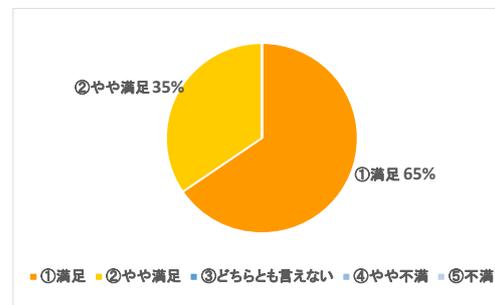
	実数	%
①満足	37	67%
②やや満足	16	29%
③どちらとも言えない	2	4%
④やや不満	0	0%
⑤不満	0	0%
合計	55	



- 無償運送の請求・支払いの変更点や、移動支援サービス専用の自動車保険があるという情報を得られたので、とても参考になりました。
- 全国ではさまざまな工夫で取組が進んでいることを知りました。「できる 때가、はじめどき」は全くそのとおりだと思いました。
- 住民の困りごとを拾い上げ形を作り上げるには遠い道のりで多くの課題もありますが、まずはやってみることも大切で、やりながらより良いものにしていけばいいのだと分かりました。

#### 5. セミナーの内容について、満足度を教えてください。取組紹介①(NPO法人地域支え合いネット)

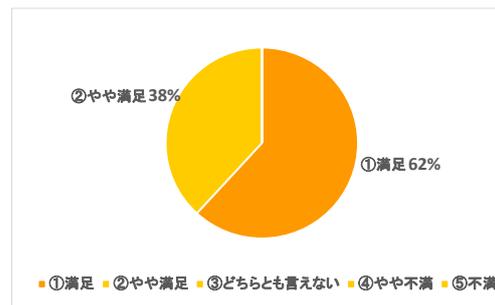
	実数	%
①満足	36	65%
②やや満足	19	35%
③どちらとも言えない	0	0%
④やや不満	0	0%
⑤不満	0	0%
合計	55	



- 第2層コーディネーター有志が、NPOを立ち上げたため、法人として動けて、活動しやすかったのではないかと思います。また、法人としていろいろな事業を受託出来たことも、活動継続の大きな原動力になっていると思いました。
- 取組の詳細が分かりやすく勉強になった。地域により第2層の構造がこんなにも違うとは驚きだった。
- 地域の生活を支えている方々の熱意が伝わりました。様々な方々の関わりや支えが必要なのだと改めて気付かされました。

#### 6. セミナーの内容について、満足度を教えてください。取組紹介②(スマイルきくさわ第2層協議体)

	実数	%
①満足	34	62%
②やや満足	21	38%
③どちらとも言えない	0	0%
④やや不満	0	0%
⑤不満	0	0%
合計	55	



- 最初の話し合いの場で、地域の方々から出た意見や思いを大切に事業に繋がると言う感じがします。やってダメならめればいというスタンスは、最初の一步を踏み出す際には大事だと思います。
- 協議体のメンバーの方が移送支援も行っているようで、やはりメンバーになってくれる人材の確保やどのように継続していくかが重要だなと感じました。
- 最初から完璧を求めずとも、一つの活動をスタートさせたことで、支え合いの輪が広がるということもある、ということを実感しました。

#### 7. その他何かありましたら、記載ください。

- 移動支援は町の大きな課題であり、課題解決に向けた取り組みをきちんと行っていくために、今後協議体の設置等生活支援体制整備事業を実施していく必要があると改めて感じました。
- 市内の支え合い活動実施団体と一緒に参加できて、様々な意見交換もできたのでとても有意義な時間となりました。